

2018年12月末現在（経営分析表）

Table with 26 columns representing business categories and performance metrics. Rows include company counts, sales figures, profit margins, and productivity ratios. The table is organized into sections like '損益計算書' (Income Statement) and '対売上高比率' (Ratio to Sales).

2018年12月の県下中小企業の業績動向は次の通り。調査対象企業3,437社のうち、黒字企業は50.8%の1,748社である。全産業の純売上高は、対前年同月比100.6%と微増。これを業種別に見ると、製造業が105.3%、運輸業・郵便業が103.5%、卸売業が103.0%、と前年を上回り、一方建設業が97.7%、情報通信業が99.3%、小売業が99.9%、宿泊業・飲食業が99.5%、不動産業が96.7%、サービス業が84.7%と前年を下回っている。

【情報通信業】

調査対象企業38社中、黒字企業は20社で黒字企業比率は52.6%である。純売上高は、対前年同月比で99.3%と減少している。売上総利益率は52.7%で対前年同月比100.5%と微増、経常利益率は1.8%で対前年同月比56.2%と悪化、経常利益額も前年同月比55.4%で減少している。

【運輸・郵便業】

調査対象企業145社中、黒字企業は81社で黒字企業比率は55.8%である。純売上高は、対前年同月比103.5%で増加している。売上総利益率は25.6%で対前年同月比96.6%で悪化、経常利益率は2.2%で対前年同月比70.9%と悪化している。経常利益額も前年同月比73.9%で減少している。

【卸売業】

調査対象企業482社中、黒字企業は259社で黒字企業比率は53.7%である。純売上高は、対前年同月比103.0%で増加している。売上総利益率は17.9%で対前年同月比96.7%と減少している。経常利益率は2.6%で対前年同月比100.0%と横ばいである。経常利益額は対前年同月比103.5%と金額は増加している。

【小売業】

調査対象企業467社中、黒字企業は192社で黒字企業比率は41.1%である。純売上高は対前年同月比で99.9%と微減。売上総利益率は30.4%と前年同月比96.8%、経常利益率は、1.5%で対前年同月比83.3%と悪化している。経常利益額も、前年同月比83.9%と減少している。

【宿泊・飲食業】

調査対象企業155社中、黒字企業は52社で黒字企業比率は33.5%である。純売上高は対前年同月比で99.5%と減少している。売上総利益率は65.0%と前年同月比99.2%で減少。売上高経常利益率は、0.8%で対前年同月比47.0%と悪化している。経常利益額も、前年同月比45.3%で減少している。